

令和4年度 シラバス

芸術 科目(書道Ⅱ)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～H組
教科書(出版社)	書Ⅱ(教育図書)	副教材(出版社)等	硬筆練習帳(教育図書)

1 学習の到達目標

- ・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- ・漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じり書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に表現する能力を高める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学期	4	漢字の書の個性豊かな表情	・書体の変遷	・それぞれの書体や書風の特徴を理解する。 ・篆書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置付けを理解する。 ・基本的な用筆、運筆、結構を習得する。	授業での取り組み プリントの記入内容・状況 提出作品
	5				
	6	漢字の書	・隷書の古典 乙瑛碑	・隷書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置付けを理解する。 代表的な隷書の古典を理解し、基本的な用筆・運筆、結構を習得する。	
7		曹全碑			
2 学期	9	篆刻	・篆刻の学習 書と篆刻	・書の一分野として、篆刻の意義を理解し、作品に対する効果を考え、姓名印を刻競るようにする。 ・篆刻の基本的な手順。下書き→布字(石に刻す)→運刀(石に刻す)→押印と技法を習得する。	篆刻の学習では、下書き、布字、とそれぞれ細かく評価する。
	10				
	11		臨書作品制作	・五書体(篆・隷・楷・行・草)の中から、自分に合った書体を一点選び、古典を決定し、作品制作に取り組む。	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
2	12	仮名の書	・文字の造形を学ぶ	・仮名の組み合わせによる表現の美を味わう。 ・仮名の書の変遷を学び、平安時代の仮名の書の美の特徴を理解する。	授業での取り組み プリントの記入内容・状況
3 学 期	1	創作 くらしの中の書	・仮名の書 高野切第一種	・高野切第一種の学習により、仮名の特徴を理解し用筆法・運筆法を学ぶ	授業での取り組み プリントの記入内容・状況 提出作品
	2		実用書道	・百人一首を変体仮名、連綿を交えて散らし書きにまとめる。	
	3			・のしの表書きと履歴書を書く。	

3 評価の観点

書への関心・意欲・態度	・さまざまな書の美に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書・仮名の書の学習を通して、多様な書法を意欲的、主体的に学び、古典の美と価値を感じとろうとしている。
書表現の構想と工夫	・古典の特徴を捉え、習得した技法を自身の表現活動に生かしている。 ・感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している
創造的な書表現の技能	・自らの意図に基づいて構想し、創意工夫のある表現の技能を身に付け表している。 ・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の学習で習得した表現の能力を生かし、創造的な表現の技能を身に付け表している。
鑑賞の能力	・書の美の多様性、書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解し、その良さや美しさを深く味わっている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・書への関心・意欲・態度、諸表現の構想と工夫、創造的な書表現の技能、鑑賞の能力 の4観点から総合的に評価する。 ・書道活動への参加の仕方や態度、提出作品の内容、プリント、ノートの提出状況
--

5 担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>書道の学習においては、まずよく見ることが大切です。自らの感性に基づいて、対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。ただ書くのではなく、1枚1枚、1字1字しっかり自分で問題点を見極めながら練習することが大切です。遅刻・欠席をせず、自分の用具をしっかり管理し、学校の備品を大事に扱い、毎時間の提出物を必ず出すことを守って下さい。</p>
--